



平成23年2月7日

各位

会社名 JKホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉田 隆  
 (コード番号 9896 東証第一部)  
 問合せ先 取締役財務部長 渡辺 昭市  
 (TEL. 03-5534-3803)

### 通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年2月7日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年11月8日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正することいたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

##### (1) 修正の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	268,000	2,600	1,600	1,100	37円24銭
今回修正予想 (B)	278,000	2,900	1,900	1,600	54円16銭
増減額 (B - A)	10,000	300	300	500	
増減率 (%)	3.7	11.5	18.8	45.5	
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	255,553	1,935	968	212	7円18銭

##### (2) 修正の理由

第3四半期の業績につきましては、新設住宅着工戸数の持ち直しの動きが一段と鮮明になり、合板市況も総じて堅調に推移したことから、大半のグループ企業の業績が大幅に好転し、連結売上高は予想対比9.8%の増収となりました。これに伴い営業利益、経常利益とも予想を大幅に上回りました。

上記要因に加えまして、株価の回復により第2四半期に特別損失として計上した投資有価証券評価損が減少したことから、四半期純利益は予想を更に上回りました。

第4四半期につきましては、新設住宅着工戸数は引き続き底入れの動きが継続するものと見込まれるほか、公共建造物等非住宅部門での木質系建築資材活用の動きが強まるなど、引き続き経営環境の改善が期待されます。

以上のような状況を踏まえて、第3四半期までの実績と第4四半期の業績見通しの見直しを行い、平成22年11月8日に公表しました通期連結業績予想を上方修正いたします。

#### 2. 配当予想の修正

##### (1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成22年11月8日)		2.50	5.00
今回修正予想		3.50	6.00
当期実績	2.50		
前期実績 (平成22年3月期)	2.50	2.50	5.00

##### (2) 修正の理由

当社は、企業体質の強化と、今後の事業拡大に必要な内部留保の充実を図るとともに、株主各位への安定かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけております。

この方針の下、収益の状況や経済金融情勢、今後の事業展開等を総合的に勘案した上で株式分割や記念増配、自己株式の取得等の株主還元策を実施してまいりました。今後も、業績に対応した安定配当の継続を基本としつつ、株主還元の充実に努めてまいります。

期末配当につきましては、通期連結業績予想の修正等を踏まえ、従来予想の1株当たり2円50銭から1円増額して3円50銭に修正いたします。これにより、年間配当は1株当たり6円(うち中間配当2円50銭)となる予定であります。

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上